

運営費交付金の在り方に関する検討会 (第2回)における検討課題

文部科学省 高等教育局 国立大学法人支援課



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

目次

論点 1 2

- ①メリハリのある配分を行うための仕組み
- ②各大学が自ら学内資源配分等の見直しを不断に行う仕組み

論点 2 3

機能強化の方向性に応じた評価や、それを踏まえた予算配分への反映の在り方等について

参考資料 4

- (1)国立大学法人運営費交付金算定方法の概要
- (2)「大学改革促進係数」のイメージ
- (3)国立大学等の機能強化を推進する改革構想
- (4)地域の活性化への貢献
- (5)大規模基礎研究や先導的・実験的な教育・研究の実施
- (6)世界水準の研究・教育の実施

論点 1. ①メリハリのある配分を行うための仕組み ②各大学が自ら学内資源配分等の見直しを不断に行う仕組み

<現状>

○大学改革促進係数による重点配分を行う仕組み

- ・ 既存の組織や業務見直しを促すよう、大学改革促進係数により資源配分の財源を捻出。
- ・ 各大学の取組等に応じ支援を行い、資源配分を調整。

【検討課題】

- ・ 現状では、機能強化の取組の支援を一部行っているが、仕組みとしては一律のルールとなっており、機能に応じた評価に基づく配分など、機能強化の方向性等に応じた仕組みを考える必要があるのではないか。
- ・ その際、機能強化の類型については、画一的な分類とせず、各大学の機能や強み・特色の多様性を踏まえた柔軟なものとするとともに、拠点の構成単位は、大学全体のみならず、教育研究組織なども含める必要があるのではないか。
- ・ 現状では、大学改革促進係数により重点支援の財源を捻出しているが、今後とも重点支援を行うために、財源を捻出する仕組みが必要ではないか。
- ・ 大学のガバナンス改革が進展していることを踏まえ、学長がリーダーシップを一層発揮しながら、教育研究組織や業務の見直しなど学内の資源の再配分を行う仕組みを配分ルールにビルトインする必要があるのではないか。

論点 2. 機能強化の方向性に応じた評価や、それを踏まえた予算配分への反映の在り方等について

<現状>

○一律のルールによる配分

- ・ 基本的に一律のルールによる配分を行い、特別運営費交付金において一部、大学の要求により、各大学の取組に応じた配分を実施。

○中期目標期間の評価結果を活用した配分を、特別運営費交付金の一部において実施。

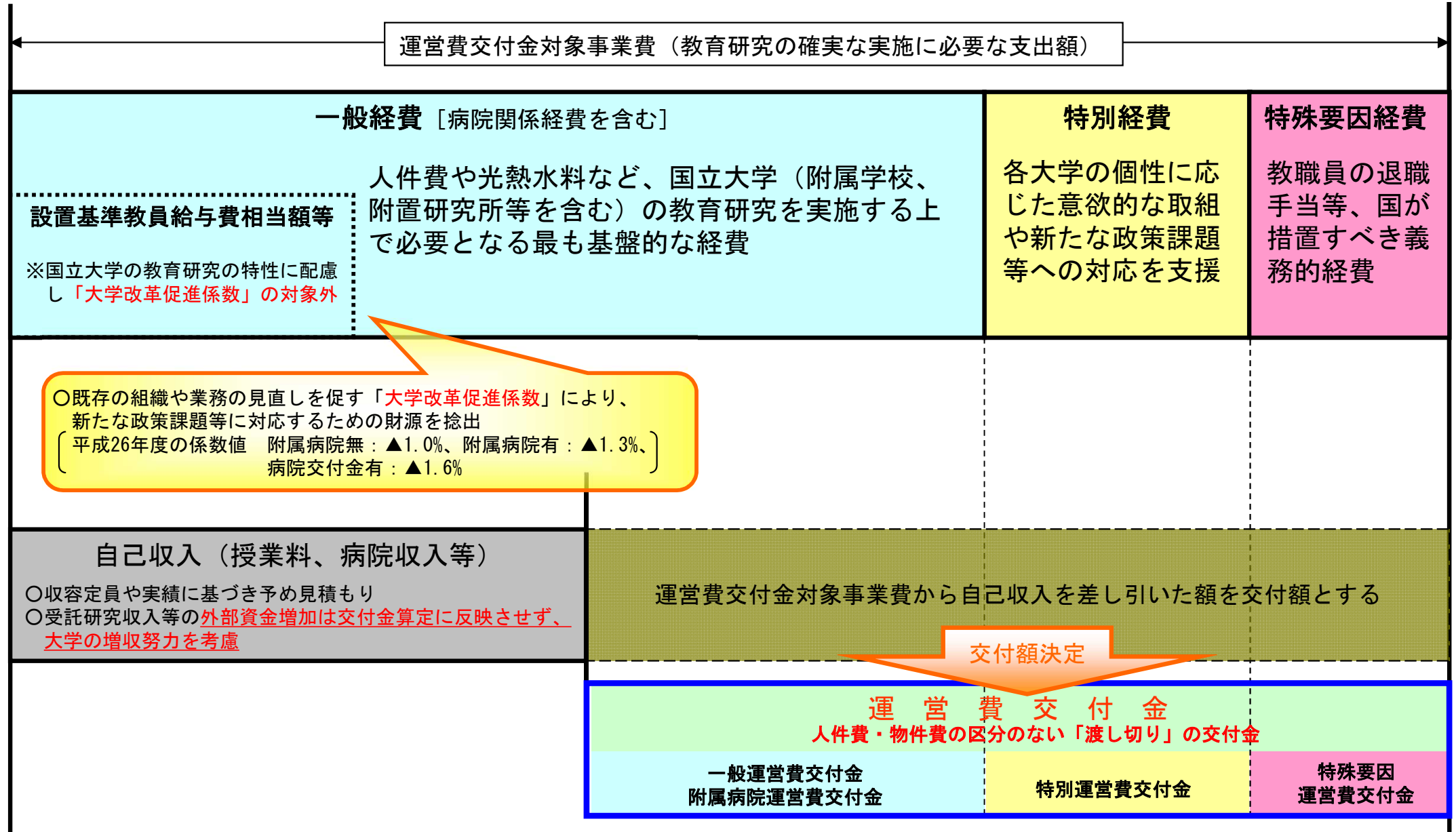
【検討課題】

- ・ 現状では、予算配分における評価が必ずしも明確ではないが、各大学の強み・特色を生かせるよう、機能に応じた評価指標の設定やその実績による配分など、評価に応じた配分の仕組みを考える必要があるのではないか。
- ・ その際、評価指標の設定は、全大学に共通のものや機能に応じたもの、また機能に必須なものや大学が選択するものなど、国の政策の方向性ととも大学に特性、自主性に配慮したものとする仕組みを考える必要があるのではないか。
- ・ 現状では、特別運営費交付金の一部について、前期の中期目標期間の評価結果を活用したものとなっているが、例えば3年ないし6年など中期目標期間における取組を踏まえた配分に反映する評価と、年度ごとの配分に反映する評価について考える必要があるのではないか。

參考資料

(参考1) 国立大学法人運営費交付金算定方法の概要

- 法人化時（平成16年度予算）においては、法人化前の公費投入額を踏まえ、従来の教育研究が引き続き行えるよう **法人化以前の配分実績を基に算定。**
- 平成17年度以降は、**前年度の算定をベース**に、諸係数を乗じるなどして交付額を決定する仕組み。



(参考2)「大学改革促進係数」のイメージ

A大学

【Y年度】

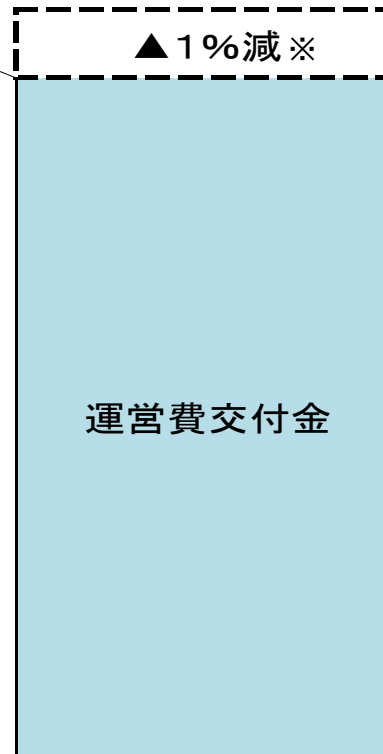
【Y+1年度】

【ケース①】

教育研究組織の再編成
等を行わない場合

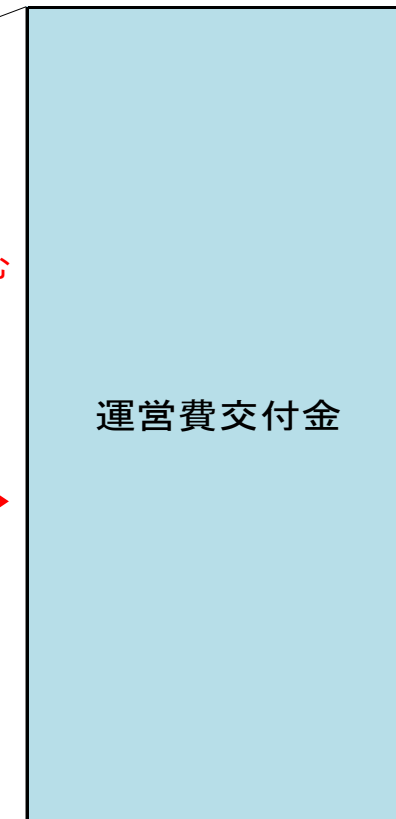
【ケース②】

教育研究組織の再編成
等を行う場合



※教育研究組織の
再編成等に自主的
・自律的に取り組む
大学の場合

増 額



※▲1%はイメージ図を分かりやすくするため簡略化しており、実際の係数値は以下のとおり。
(附属病院無：▲1.0% 附属病院有：▲1.3% 病院交付金有：▲1.6%)

(参考3) 国立大学等の機能強化を推進する改革構想(平成26年度)

世界水準の教育研究活動の飛躍的充実

北海道大学

北海道大学の強みを集約した総長直下の教育研究組織に海外から一線級教育研究ユニットを誘致し、先端的国际共同研究により生み出される実績をもとに、新学院「量子医理工学院」及び「国際感染症学院」を設置

筑波大学

国際的通用性のある教育システム(学位プログラム制・日本版チューニング・企業や外国の大学との学位プログラムの実施)を構築し、大学のグローバル化を推進

東京農工大学

「グローバルイノベーション研究院」の設置やグローバル教育制度(英語による教育や全学生の海外経験支援等)の創設により、国際理系グローバルイノベーション人材の養成を推進

京都工芸繊維大学

世界ランキング15位に選出された実績等を踏まえ、建築・デザイン分野で海外一線級のスタンフォード大学等からの研究者招へいや海外拠点整備等により機能を強化

東北大学

東北大学の強みであるスピントロニクス分野にシカゴ大学やミュンヘン工科大学等から世界トップクラスの研究者を招へいし、国際共同大学院を構築

東京大学

東京大学のグローバル化を飛躍的に加速するため、世界から人材の集う「知の拠点」国際高等研究所を形成し、カリフォルニア大学バークレイ校等から世界レベルの研究者を招へい。最先端国際共同研究の成果を教育へ転用

名古屋大学

四半世紀にわたるアジア法整備支援の蓄積を踏まえ、アジア各国の大学の協力を得て、法学等のアジアキャンパスを設置。各国の専門家・政府高官に博士号を授与する環境を整備

大阪大学

認知脳システム学や光量子科学等について、カリフォルニア工科大学やフランス国立科学研究センターから世界トップクラスの研究者を招へいし、国際的研究者が集う拠点を形成

群馬大学

全学教員ポストを学長のリーダーシップで再配置可能な組織としたうえで、重粒子線治療の強みを活かした総合腫瘍学等に関する教育研究拠点を海外研究機関から研究者を招へいして形成

東京医科歯科大学

海外拠点地域にあるチリ大学、チュラロンコン大学等とジョイントディグリーコースを設置し、国際性豊かな医療人の養成を推進するとともに、世界競争力の強化及び日本式医療技術の国際展開に貢献

京都大学

工・理・医薬系の各分野トップレベルの研究者をハーバード大学やオックスフォード大学等から招へいし、国際連携スーパーグローバルコース(仮称)を構築。大学院生への研究指導を通じて世界と競う人材を育成

九州大学

国際コースの拡充や新規採用教員の5年間英語講義提供の必須化などの展開を見据えつつ、欧米の大学(リーズ大学等)との連携による「国際教養学部(仮称)」を設置

各分野における抜本的機能強化

秋田大学

鉱山学部の蓄積を活かした国際資源学部を中心に、国内外の資源に関わる企業・政府機関等の多様な分野で活躍できる人材の養成を行い、我が国の資源・エネルギー戦略に寄与。同時に教育文化学部、理工学部を含めた全学的な組織再編成による人的資源を再配置

東京工業大学

「世界標準の教育」を**保証**するため、世界トップクラスの大学のカリキュラムに対応した教育システムへの転換を図る。MIT等の海外トップ大学から研究者等を招へいし、世界の理工系人材の交流の拠点化を推進

福島大学

福島の復興・再生・発展のために、環境放射能研究所を環境放射能の動態と影響を解明する先端研究拠点として機能を強化し、新たに5部門13研究分野を設置して研究機能及び研究拠点としての運営力を強化

福井大学

教職大学院を附属学校に置き、大学ではなく附属学校を拠点校として教師教育を展開。拠点校に教職大学院の教員が出向き教育実践を行うことで、福井県全8,000人の教員の資質向上に寄与

一橋大学

学士課程プログラムの改革を推進し、新入生全員を対象とした短期語学留学を必修化するとともに、チューニングによるカリキュラム調整などにより大学教育の国際的な互換基盤を整備。学位の国際通用性向上を図ることによりスマートで強靱なグローバルリーダーを育成

長崎大学

世界トップレベルのロンドン大学等と連携した熱帯医学GH(グローバルヘルス)校を創設。ケニア等の熱帯地域・開発途上国におけるフィールド研究を強化し、WHO等国际機関における熱帯医学・グローバルヘルス専門家を育成

(参考4)地域の活性化への貢献

- 三大都市圏（東京圏、中京圏、近畿圏）以外の地方で特に国立大学が大きく貢献 -

■大学等別大学等発ベンチャー数上位50位の大学(平成24年度実績)

	国立大学		公立大学		私立大学	
	三大都市圏	その他地域	三大都市圏	その他地域	三大都市圏	その他地域
大学数	15校	20校	1校	2校	9校	3校

■共同研究実績(金額ベース)・上位50大学(平成24年度実績)

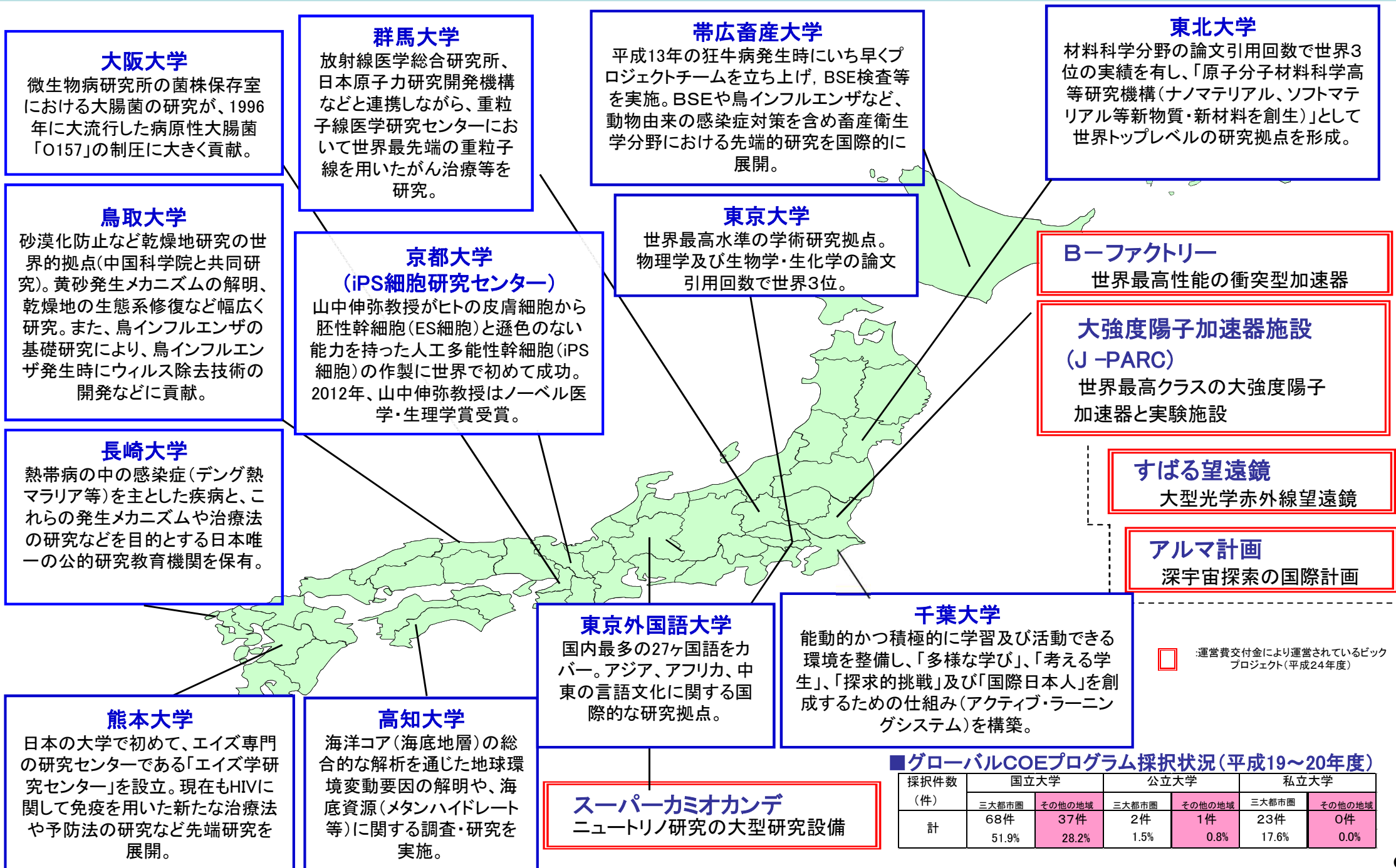
	国立大学		公立大学		私立大学	
	三大都市圏	その他地域	三大都市圏	その他地域	三大都市圏	その他地域
大学数	17校	25校	3校	0校	5校	0校

■中小企業との共同研究実績(件数ベース)・上位50大学(平成24年度実績)

	国立大学		公立大学		私立大学	
	三大都市圏	その他地域	三大都市圏	その他地域	三大都市圏	その他地域
大学数	13校	32校	1校	0校	4校	0校
件数	1,074件	1,879件	87件	0件	165件	0件
件数のシェア	33%	59%	3%	0%	5%	0%

(平成24年度大学等における産学連携等実施状況について(平成25年文部科学省))

(参考5)大規模基礎研究や先導的・実験的な教育・研究の実施



(参考6)世界水準の研究・教育の実施①

○ いわゆる大学ランキングには、民間のものを含めて様々なものが存在する。

○ そのうち英国のTimes Higher Education誌が毎年発表しているランキングでは、2013-14年度版において我が国の大学は5校が200位以内にランクインしている。

◆英国Times Higher Education誌「世界大学ランキング」 【2014-15年度のランキング】

【2013-14年度のランキング】

- 1 カリフォルニア工科大学(米)
- 2 ハーバード大学(米)
- 2 オックスフォード大学(英)
- 4 スタンフォード大学(米)
- 5 マサチューセッツ工科大学(米)
- 6 プリンストン大学(米)
- 7 ケンブリッジ大学(英)
- 8 カリフォルニア大学バークレー校(米)
- 9 シカゴ大学(米)
- 10 インペリアル・カレッジ(英)
- 23 東京大学**
- 26 シンガポール国立大学(シンガポール)
- 43 香港大学(香港)
- 44 ソウル国立大学(韓国)
- 45 北京大学(中国)
- 50 清華大学(中国)
- 52 京都大学**
- 56 韓国科学技術院(韓国)
- 57 香港科技大学(香港)
- 60 浦項工科大学(韓国)
- 76 南洋工科大学(シンガポール)
- 109 香港中文大学(香港)
- 125 東京工業大学**
- 142 国立台湾大学(台湾)
- 144 大阪大学**
- 150 東北大学**
- 190 延世大学(韓国)

- 1 カリフォルニア工科大学(米)
- 2 ハーバード大学(米)
- 3 オックスフォード大学(英)
- 4 スタンフォード大学(米)
- 5 ケンブリッジ大学(英)
- 6 マサチューセッツ工科大学(米)
- 7 プリンストン大学(米)
- 8 カリフォルニア大学バークレー校(米)
- 9 インペリアル・カレッジ(英)
- 9 イェール大学(米)
- 23 東京大学**
- 25 シンガポール国立大学(シンガポール)
- 43 香港大学(香港)
- 48 北京大学(中国)
- 49 清華大学(中国)
- 50 ソウル国立大学(韓国)
- 51 香港科技大学(香港)
- 52 韓国科学技術院(韓国)
- 59 京都大学**
- 61 南洋工科大学(シンガポール)
- 66 浦項工科大学校(韓国)
- 129 香港中文大学(香港)
- 141 東京工業大学**
- 148 成均館大学(韓国)
- 155 国立台湾大学(台湾)
- 157 大阪大学**
- 165 東北大学**
- 192 香港城市大学(香港)
- 193 復旦大学(中国)

【200位以内のアジアの大学数の変化】

	2013-14	2014-15
日 本	5大学	→ 5大学
韓 国	4大学	→ 4大学
香 港	3大学	↑ 4大学
中 国	2大学	↑ 3大学
台 湾	1大学	→ 1大学

【評価指標】

- ①教育(30%)
- ②論文引用(30%)
- ③研究(30%)
- ④国際(7.5%)
- ⑤産学連携(2.5%)

世界水準の研究・教育の実施②

◆英国Times Higher Education誌 「大学名声ランキング」

【2013年のランキング】

- 1 ハーバード大学(米)
- 2 マサチューセッツ工科大学(米)
- 3 ケンブリッジ大学(英)
- 4 オックスフォード大学(英)
- 5 カリフォルニア大学バークレー校(米)
- 6 スタンフォード大学(米)
- 7 プリンストン大学(米)
- 8 カリフォルニア大学ロサンゼルス校(米)
- 9 東京大学**
- 8 イェール大学(米)
- 22 シンガポール国立大学(シンガポール)
- 23 京都大学**
- 35 清華大学(中国)
- 36 香港大学(香港)
- 41 ソウル国立大学(韓国)
- 45 北京大学(中国)

(50-100位の日本の大学)

51-60 大阪大学

61-70 東北大学

61-70 東京工業大学

【評価方法】

世界各国の大学関係者による主観的な印象による評価を集計、順位化

◆英国QS社 「世界大学ランキング」

【2014年のランキング】

- 1 マサチューセッツ工科大学(米)
- 2 ケンブリッジ大学(英)
- 2 インペリアル・カレッジ(英)
- 22 シンガポール国立大学(シンガポール)
- 28 香港大学(香港)
- 31 東京大学**
- 31 ソウル国立大学(韓国)
- 36 京都大学**
- 39 南洋工科大学(シンガポール)
- 40 香港科技大学(香港)
- 46 香港中文大学(香港)
- 47 清華大学(中国)

(50-100位の日本の大学)

55 大阪大学

68 東京工業大学

71 東北大学

【評価指標】

- ①世界各国の学者による評価(40%)
- ②世界各国の雇用者による評価(10%)
- ③教員一人あたり論文引用数(20%)
- ④学生一人あたり教員比率(20%)
- ⑤留学生比率(5%)
- ⑥外国人教員比率(5%)

◆上海交通大学 「世界の大学学術ランキング」

【2013年のランキング】

- 1 ハーバード大学(米)
- 2 スタンフォード大学(米)
- 3 カリフォルニア大学バークレー校(米)

21 東京大学

26 京都大学

85 大阪大学

【評価指標】

- ① ノーベル賞もしくはフィールズ賞を受賞した卒業生数(10%)
- ② ノーベル賞もしくはフィールズ賞を受賞した教員数(20%)
- ③ 21の領域分野において被引用頻度の高い研究者の数(20%)
- ④ ネイチャー誌・サイエンス誌発表論文数(20%)
- ⑤ 自然科学系及び社会科学系論文インデックスへの掲載論文数(20%)
- ⑥ 上記5つの指標を教員のフルタイム換算値で割った補正值(10%)